

議会だより

No181

令和6年
10月31日発行



令和7年1月24日 開催決定
第3回議会報告会・意見交換会

令和6年 9月定例会

令和5年度 決算認定 (一般会計・各特別会計)

令和6年度 補正予算可決(一般会計・各特別会計)

一般質問 10人の議員が町の考えを問う

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ・新村 貴紀議員 | ・松村 潤議員 | ・神山 均議員 |
| ・蟹和 孝一議員 | ・三ツ村由紀議員 | ・佐藤 富代議員 |
| ・松島 茂喜議員 | ・塩井 早苗議員 | ・山本 裕子議員 |
| ・武井 清二議員 | | |

おうらスポーツフェスティバル

■決算質疑……………	3～4
■可決された議案……………	4
■提出議案と議員の賛否……………	5
■一般質問……………	7～16

YouTubeにて邑楽町議会
チャンネルを開設しました
本会議の様子をご覧いただけます



9月定例会

令和5年度の決算を認定

一般会計 歳入総額 115億7,096万円
歳出総額 110億2,271万円
町税収入 44億3,430万円（歳入総額の38.3%）

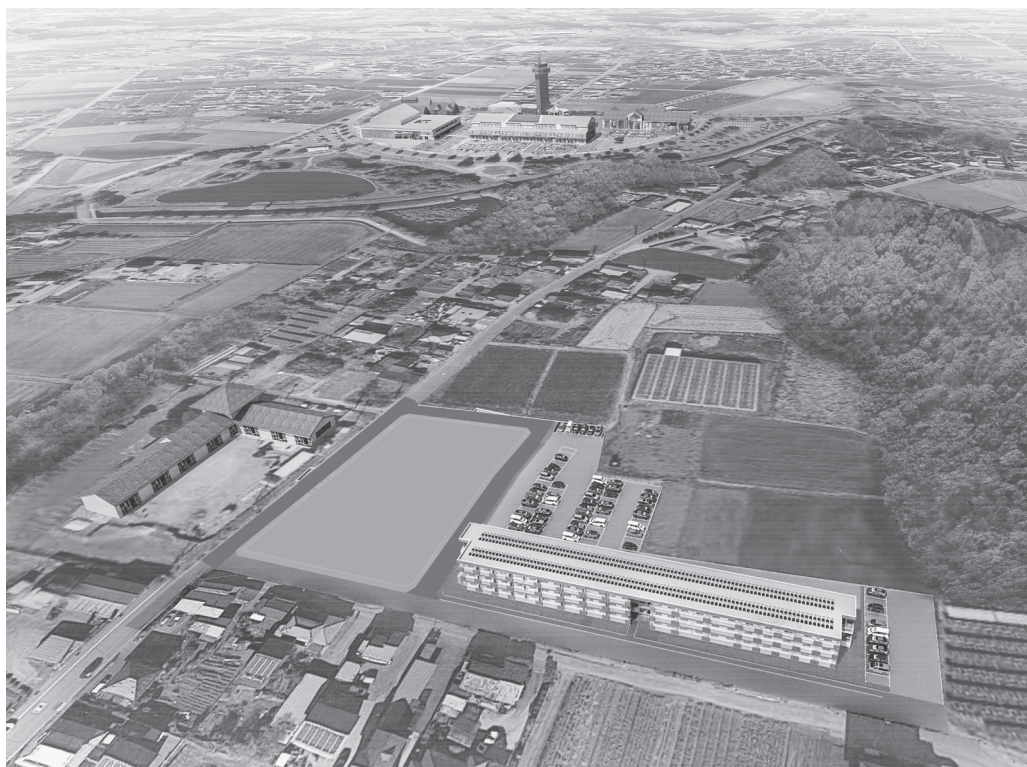
一般会計決算額は、歳入総額が前年度と比較して、2億132万円の減額となりました。町税、諸収入、県支出金等が増加した一方、町債、繰入金、地方交付税等が減少したことにより、減少の主な内容は、町債が1億3620万円、繰入金が1億1279万円、地方交付税が9916万円減少したこと等です。

町税収入は44億3430万円で、歳入総額に占める構成比は、前年度より1.7%増加の38.3%となりました。収納率は、現年課税分で見ると令和3年度から令和5年度まではいずれも99.1%で同率となり、高い収納率を維持しています。

歳出においては、予算額115億6390万円に対し、決算額は110億2271万円で、執行率は95.3%となっています。前年度の執行率は94.4%であり、0.9%の増加となっています。令和6年度への繰越額は1億3578万円、不用額4億541万円であり、繰越額を除く執行率は96.5%となっています。物価高騰による経費の増加等で見通しのきかないこともあり、予算要求の難しさがありますが、今後も年度内に事業を完了できるように一層の努力を求めます。

歳出総額は、前年度と比較して1億8973万円の減額となっています。減額の主な要因は、教育費は社会教育施設建設基金への積立や工事請負費の減額等により3億5235万円の減少、土木費は邑楽南地区の生活拠点施設整備事業の主要工事完了による工事請負費の減額等により1億60

9月定例会では、令和5年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い、12日の本会議で各会計とも認定されました。



大黒第2町営住宅 完成予想鳥瞰図

32万円の減少、衛生費はコロナウイルスワクチン接種事業の減額等により5087万円の減少によるものです。

令和5年度の一般会計の概要は以上のおりであり、実質単年度収支は黒字となりました。依然として続く物価高騰の町財政に対する影響はさらに大きくなると考えられ、これまで以上に事業運営の効率化等による経費の縮減が求められます。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、町民の生活はコロナ禍前に戻りつつありますが、物価高騰が家計を苦しめており、町行政に対する期待は大きくなっています。町民の声を身近に聞き、最小の経費で最大の効果を上げるよう、DXの推進などによる、住民サービスの向上、各事業運営の改善や効率化をより一層推進されるよう要望します。

(監査委員による決算審査意見書抜粋)

令和5年度決算額

会 計 別	歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 額
一 般 会 計	115億7,096万4,435円	110億2,271万1,455円	5億4,825万2,980円
国民健康保険特別会計	30億5,248万4,398円	28億4,752万5,293円	2億 495万9,105円
後期高齢者医療特別会計	4億 434万3,770円	4億 235万 232円	199万3,538円
介護保険特別会計	23億 786万5,912円	21億4,944万8,680円	1億5,841万7,232円
下水道事業特別会計	4億3,430万8,376円	4億 909万3,425円	2,521万4,951円

決算の 主な質疑(要旨)

一般会計、各特別会計の決算にあたり、行政効果などについて質疑が行われました。

Q 松村潤議員 滞納繰越分の収納済額が1877万2166円となっているが、どのような徴収努力をされたのか。

A 税務課長 早期に完納となるよう納税計画、個別に相談の上対応しているが、対応に応じない場合は、差押え等の強制徴収手続を行う。

Q 神山均議員 町長選挙費の実績額等を前回選挙と比較して説明を。

A 総務課長 令和5年度に選挙公営制度が拡大をされ、選挙運動用ポスターの作成費等が公費負担となった。前回と比べると、この選挙公営費を除いた額では、約89万円の減額となった。

Q 新村貴紀議員 保育士等派遣委託料について年々増えているが、その件について伺う。

A 子ども支援長 保育士等が不足し、また保育士等の中には派遣の形態で働き方を希望する人もおり、職員の派遣をお願いしている。

Q 瀬山登議員 公共路線バスの運行について、コストパフォーマンスが低い事業である。町全体の交通弱者の移動手段に、デマンドバス導入など見直しの検討があるか町長の考えを聞きたい。

A 町長 今後、館林市外四町地域公共交通会議で町に望ましい交通体系の議論を深めていく。



Q 武井清二議員 職員ストレスチェックの委託料約35万円。どのように実施し、その結果をどのように活用しているのか。

A 総務課長 毎年業者へ委託し、実施している。高ストレス対象者には産業医の診察や職員共済会などへ相談しながらケアを行っている。



Q 佐藤富代議員 いろいろな働き方の職員がいる中で保育の質を高めるには。

A 子ども支援課長 職員研修、モチベーションを高める関わり、先輩からのフォローアップが重要である。園における正規職員、会計年度任用職員、派遣職員の比率的バランスを考慮したい。

Q 原義裕議員 地球にやさしい環境づくり事業の目的と実績を伺う。

A 建設環境課長 運用目的は、町民の快適な生活環境の維持向上を推進することと地球環境の保全に寄与することである。今までに地球にやさしい環境づくり基金を使った事業実績はない。



Q 松島茂喜議員 商工会事業費補助金1097万円だが、5年間にわたり予算額と決算額が同額である。その理由は何か。

A 副町長 毎年商工会より事業予定を出していただき、予算の上限で補助を行っている。

可決された議案

〔人事案件〕

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

岩崎年男さん（秋妻）

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任命について同意しました。

中村郷志さん（藤川）
橋本明香さん（赤堀）

〔専決処分の承認〕

令和6年度邑楽町一般会計補正予算（第2号）

新型コロナウイルス感染症対策事業を実施するための経費が必要となり、専決処分された補正予算について、承認しました。

〔条例改正等〕

邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の改正

改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部を改正する法律等の施行に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町手話言語条例

手話が言語であるとの認識に基づき、手話言語の理解と広がりをもって地域で支え合い、手話言語を使って安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指すため、条例を制定しました。



■ 令和6年度補正予算額（9月）

会計別		予算現額	補正額	予算総額
一般会計		108億 602万円	5億9,452万円	114億 54万円
国民健康保険特別会計		26億1,157万円	2億2,258万円	28億3,415万円
後期高齢者医療特別会計		4億5,855万円	268万円	4億6,123万円
介護保険特別会計		21億1,134万円	1億6,589万円	22億7,723万円
公共下水道事業会計	収益的収入	3億6,934万円	314万円	3億7,248万円
	収益的支出	3億2,751万円	339万円	3億3,090万円
	資本的収入	2億8,780万円	△31万円	2億8,749万円
	資本的支出	3億4,904万円	△43万円	3億4,861万円

※四捨五入の計算上、予算総額に誤差があります。



令和6年第3回邑楽町議会 定例会 提出議案と議員の賛否

		議席番号														議員名	結果
議案等		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
		山本裕子	三ツ村由紀	武井清二	新井貴紀	神山均	蟹和孝一	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	瀬山登喜	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤		
報告第1号	令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について																一
同意第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて (岩崎年男さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	同意
同意第8号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (中村郷志さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	同意
同意第9号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (橋本明香さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	同意
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度邑楽町一般会計補正予算 第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	承認
議案第31号	邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	邑楽町手話言語条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	邑楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	令和6年度邑楽町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	令和6年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	令和6年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	令和6年度邑楽町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	令和6年度邑楽町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	令和5年度邑楽町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	令和5年度邑楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	令和5年度邑楽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	令和5年度邑楽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	令和5年度邑楽町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	認定

※ ○…賛成 ×…反対 欠…欠席
議…議長(議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します)



令和5年度 健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	算 定 されず	14.27%	20.00%
連結実質赤字比率 財政規模に対して、町の持っている全会計が出した赤字額の割合	算 定 されず	19.27%	30.00%
実質公債費比率 財政規模に対して、借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	6.80%	25.00%	35.00%
将来負担比率 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	算 定 されず	350.00%	

資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
公営企業の事業規模における資金の不足額の割合	算 定 されず	20.00%	下水道事業特別会計での算定

※黒字の場合「算定されず」で表示され、町の財政が健全であることを示しています。

町政を問う

一般質問

一般質問は、9月4日及び5日に行われました。質問には、10人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

■災害時の飲料水確保について	新村 貴紀議員	7ページ
■町民の生命を守る災害対策について	松村 潤議員	8ページ
■教育・子育て支援について	神山 均議員	9ページ
■空き家の現況と今後について	蟹和 孝一議員	10ページ
■保育士不足の現状と課題	三ツ村由紀議員	11ページ
■温暖化防止対策～ゴミの減量化について	佐藤 富代議員	12ページ
■「前へ」進めるまちづくりについて	松島 茂喜議員	13ページ
■介護保険サービスの重要性について	塩井 早苗議員	14ページ
■より深い総合福祉の実現について	山本 裕子議員	15ページ
■邑楽中学校と邑楽南中学校の統合について	武井 清二議員	16ページ

一般質問



新村 貴紀
議員

災害時の

飲料水確保について

問 今年の夏の台風により被害を受けた皆さまにお見舞いを申し上げます。日本も地球温暖化の影響を受けているところを実感しており、高温の時期も年々長くなっている。地球温暖化を止めることが難しくなっており、今年も40℃近い気温の日が連続した。そして、8月には南海トラフ地震注意報も初めて発令された。関東大震災の発生日は1923年、まだ残暑の9月1日である。現在の自然環境では今後も猛暑が続いていく可能性が十分あり、こういった災害時の飲料水確保について伺う。

答 **総務課長** 現状の飲料水の備蓄数は、5000ミリリットルのペットボトルで9480本、町民1人当たりで換算すると0.36本となっている。町の備蓄計画については、県の地震被害想定調査において一番規模が大きいとされている関東平野北西縁断層帯主部による地震の想定避難者数9225人を基にしている。

問 自然災害など給水車で飲料水を配布しているところをニュースで見ると、この給水車の確保について伺う。

答 **総務課長** 給水車については、町では保有していない。群馬東部水道企業団において、太田本所と館林支所に4トン車1台、2トン車1台、またみどり支所に2トン車1台の計5

台を保有している。災害時には、これらを被災状況に合わせて、派遣巡回させる予定である。町においては、群馬東部水道企業団の所有ではあるが、第三配水場に給水タンクがあり、それをトラックなどに載せれば、応急的ではあるが、給水車として使用することも可能である。

問 小売店などの提携により飲料水の提供を行うことについては、町として何か具体的に決め事はあるか。

答 **総務課長** 緊急時における飲料水の提供に関する協定を結んでいる。

問 そのほかにプールとかの水を活用する方法も考えていると聞いているが、その点について伺う。

答 **総務課長** 役場の防災倉庫や中野小学校のプールに、手動式の浄水器が設置してある。

問 プールの水も浄水器を使えば、飲料水になるということで工夫はされている。野田市では、地域住民に災害時用の井戸の登録をお願いしており、町でもこういう活動は考えているか。

答 **総務課長** 井戸水の登録制度は検討していない。

問 町民と一体としてやっていくというのはよいと思うが。

公助という部分を充実

答 **町長** 基本的には自助という考えで最低でも

3日分程度の備蓄をお願いしている。今後は公助という部分も充実させていくことも大事だと思っている。

その他の一般質問
・健康保険証について



災害時の飲料水



松村 潤
議員

町民の生命を守る 災害対策について

問 災害に対する自助意識を高める啓発活動は。

答 **総務課長** 広報おうらにおいて防災の特集を組み、啓発活動につなげている。

問 マイタイムラインの取り組みの現状は。

答 **総務課長** ハザードマップを改訂した後に、マイタイムラインの作成講習会を行っていくことを考えている。

問 町内の小中学校では、さまざまな防災教育が実施されているが、児童生徒の反応やその効果は。

答 **学校教育課長** 体験を伴う学習では、子どもたちがそれぞれの視点でさ

まざまなことに気付き、深い学びを得ている。災害時に自ら身を守る行動を取ることができ意識を定着させたい。

問 ペットは、かわいい家族の一員であるとともに、心の支えとなっている人も多い。ペットとの避難には同行避難と同伴・同室避難がある。同伴・同室避難とは、同じ避難所でペットと人が共に過ごすことをいう。飼い主がペットと共に、躊躇することなく、安心して避難できる環境づくりができないか。

答 **総務課長** 避難所運営マニュアルに掲載するなど、対応を検討する。

問 避難生活が長期化すれば、ペット同伴・同室避難生活は必要になってくる。町民体育館でペット同伴・同室避難ができないか。

答 **町長** 同室避難についてはさまざまな課題がある。避難所運営マニュアルの中で、具体的な方法を検討する。

問 被災地ではペットを連れた被災者が周囲への遠慮から避難所での生活を避けて、車中泊避難するケースもある。車中泊避難ができる避難場所の設置を。

答 **総務課長** 車中泊避難に対応する避難所、避難場所の在り方を検討する必要があると考えている。

問 水や食料はある程度我慢できるが、排せつだけは我慢できない。トイレを我慢することは、精神的なストレスがたまり、その結果、健康障害につながる。能登半島地震の時、女性が一番嬉しかったことは、全国の自治体からトイレトレーが20台程駆け付けてくれたことだったそうである。国の中央防災会議では防災基本計画を修正した。

「市町村は簡易トイレ、トイレカー、トイレトレー等により快適なトイレの設置に配慮するよう努めるものとする」との文言が追加された。被災者の「命を守る」取り組みとして「トイレカー、トイレトレー」の導入を考えるが。

引き続き検討を
重ねていく

答 **町長** 今後、国もトイレカー、トイレトレーの導入について推進をしていくという方向である

ならば、何らかの財政的支援も出てくるのだろうと思う。今後も注視しながら、トイレトレーの導入については引き続き検討を重ねていく。



体育館内で飼い主とペットと一緒に過ごす

一般質問



神山 均
議員

教育・子育て支援 について

解体撤去が推奨された。

問 現在、小中学校等には防犯カメラを各3〜4

台設置済だが、見通しが困難な場所や死角となる場所等を徐々に解消するためにも防犯カメラ増設の検討を。

答 **学校教育課長** 今回、各学校では改めて防犯

カメラの設置状況を点検した。増設については、点検の結果を基に、学校と教育委員会事務局で検討していきたい。

問 邑楽中学校の校舎改築等の検討状況は。

答 **学校教育課長** 令和元年度の専門機関による検証結果では、築後50年を経過し、老朽化が見受けられる北校舎は、建物残存期間の令和15年度後をめどに

実施。調査結果は、職員

(133人)、保護者(2

50人)ともに、80%以上の人が「幼稚園統合を進めるべき」あるいは「幼稚園統合はやむを得ない」と回答。

問 検証結果後の方向性はどのような内容か。

答 **学校教育課長** 町として必要な校舎の規模、建て替えや統合の必要性な

どの検証は進めつつ、令和15年度までは施設を補修しながら使用する見込み。

問 町の幼児教育、保育施設の新編について、職員や保護者を対象にアンケートを行ったようだが、調査結果は。

答 **子ども支援課長** 令和6年4月から6月にかけて町立幼稚園、保育園及びこども園に勤務する職員、また各園を利用する保護者を対象にアンケート調査を

利用者に最善となるような方向で検討

問 再編にあたり、幼稚園における朝の預かり保育を新設。夕方の預かり保育の時間延長の検討を。

案の承認へと進めていく。令和7年度は保護者説明会と再編に向けた準備を開始していきたい。

答 **町長** 今後も利用者からの意見聴取であるとか、あるいはニーズを十分に把握した上で、協議を重ねながらご指摘の質問の趣旨や利用者にとって最善となるような方向で検討を重ねていって、結論を出していきたい。

問 町内在住の全ての妊婦を対象に初回産科受診料の助成を始める考えは。

答 **健康づくり課長** 館林市では、令和6年4月から所得に関係なく、全ての妊婦に対し、助成してい

る。町にとっても少子化対策は喫緊の課題である。他市町に遅れることなく、取り組みを進める必要があると認識している。新年度に向けてどのようなことができるのか検討していきたい。

その他の一般質問

・産業振興等について
・総務・防災等について



北校舎の老朽化が見受けられる邑楽中学校



蟹和 孝一
議員

空き家の現況と 今後について

問 空き家問題は全国の自治体が抱える、深刻な社会問題である。国の調査では全国の空き家数は900万戸である。空き家が増える要因はさまざまだが、問題は治安や景観の悪化、災害時の復旧の妨げになることだ。町も万一に備え1戸でも減らす努力をして欲しい。さらに空き家を出さない、増やさない、仕組みも考えていく必要がある。令和3年の町の調査では、町の空き家は335戸、倒壊の恐れがある空き家は34戸ある。令和6年は何戸確認されたのか伺う。

答 建設環境課長 令和6年9月の空き家の数値は350戸で5%弱の増加である。

問 倒壊の恐れがある空き家について。

答 建設環境課長 空家等対策の推進に関する特別措置法が改正され、現在、管理不全空家等3戸把握している。

問 令和3年3月、空家等対策計画の策定から3年余り経過した。実施されたものは何か。

答 建設環境課長 主なものは、空家等バンクの創設と、他5項目にわたり、町商工会や社会福祉協議会を通して積極的に発信している。また、今年度より空家等活用補助金等を創設している。ぜひこの制度を活用してもらいたい。

問 空家等バンクの活用について伺う。

答 建設環境課長 令和3年8月に始まり、流通した空き家は5戸。現在の登録は1戸、2戸が登録準備中である。

問 補助金の活用について伺う。

答 建設環境課長 問い合わせ等があるが、申請には至っていない状況である。

導方法では現在350戸の空き家を確認中であり、その全てに宛てて、連絡のお願いと相談に乗りますという形をとっている。また、空き巣の被害が多く発生している。大泉警察署とも連絡を取り、注意喚起等を行っている。

問 空き家の再利用化の考えを伺う。

答 建設環境課長 そのままと見込まれる空き家も多くあることから、利活用の意識を高めていく事が重要である。さらなる町の空家等バンクの周知と活用促進を図り、移住・定住施策と併せた取り組みを行う必要があると考える。また、倒壊の恐れのある空き家については、特措法や町条例に基づく指導が必要である。

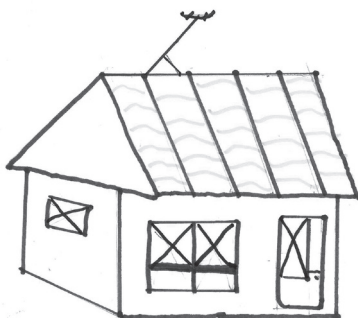
問 副町長の考えを伺う。

答 副町長 庁内会議や各協議を行い、提案していく。

問 町長の考えは。

安全安心な町づくりを進めていく

答 町長 空家等対策協議会などを通じて、安全安心な町づくりを進めていく。



空き家を出さない、増やさない

一般質問



三ツ村 由紀
議員

保育士不足の現状と課題

問 本年4月から保育士の配置基準が変更されたが、各園の現在の配置状況は。

答 **子ども支援課長** 保育士が、0歳児3人につき1人、1歳児・2歳児6人につき1人、3歳児15人につき1人、4歳児・5歳児25人につき1人に変更となった。いずれの園も、この配置基準を満たすよう運営している。

問 利用定員に対する受入状況は。

答 **子ども支援課長** 中野幼稚園は定員150人に対して受入は54人、長柄幼稚園は定員105人に対して35人、中央保育園は定員120人に対して119人、南保育園は定員120人に対して122人、おうらこども園は教育利用の定員60人に対して11人、保育利用の定員150人に対して155人である。

問 各園の正規職員と会計年度任用職員である保育士の人数と男性保育士の配置状況は。

答 **子ども支援課長** 中央保育園は正規職員8人、会計年度任用職員18人、南保育園は正規職員9人、会計年度任用職員14人、おうらこども園は正規職員15人、会計年度任用職員18人である。男性保育士は中央保育園2人、南保育園1人である。

問 派遣委託している保育士の人数は。

答 **子ども支援課長** 中央保育園4人、南保育園8人、おうらこども園8人である。

問 保育士等派遣業務委託料は令和元年度から令和5年度まで年々増加しており、毎年度、当初予算額を大幅に上回る決算額となっている。理由は。

答 **子ども支援課長** 正規職員や会計年度任用職員の離職により、派遣職員が増えれば、派遣委託料も増加する。令和5年度は派遣単価の改正があったため、その分プラスの増額となっている。

問 短時間勤務の保育士が、子どもたちにどのような影響を与えていると考えるか。

答 **子ども支援課長** 適切に引き継ぎや申し送りをしているので、決して悪い影響は与えていないと認識している。

問 派遣保育士に頼る運営が定着すれば労働環境等の悪化を招く可能性がある。派遣委託料の増加を改善するために、正規職員確保に向けた対策は。

答 **子ども支援課長** まずは採用試験を受験してもらうことから始まり、町の園で働きたいと思ってもらえることが大切である。

問 正規職員確保及び離職防止に有効な制度が必要だと考えるが。

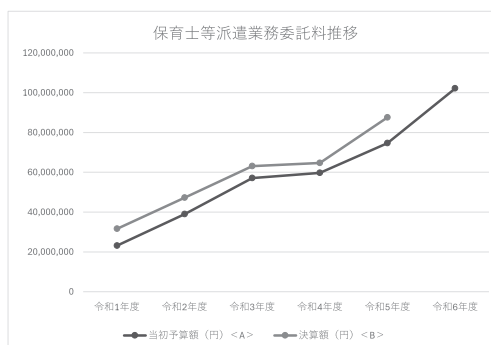
答 **子ども支援課長** 先輩保育士からのフォローアップ体制や各保育士のスキルアップの充実等、保育

士確保に有効な施策を研究していく。

問 以上を総括した町長の見解は。

答 **町長** 今後も園長を通じて、早期退職者を防ぐような環境をつくり、併せて人材確保に努め、子どもたちにとってより良い環境をつくっていく。

答 **町長** 今後も園長を通じて、早期退職者を防ぐような環境をつくり、併せて人材確保に努め、子どもたちにとってより良い環境をつくっていく。



保育士等派遣業務委託料の推移



佐藤 富代
議員

温暖化防止対策 ～ゴミの減量化について～

問 今まで経験したことの
ない気象現象に命と暮
らしが脅かされている。今、
私たちにできることは、日
常生活の省エネルギー対策
とごみの削減と考える。ご
みの収集状況は。

答 **建設環境課長** 令和5
年度可燃ごみ5494
トン、不燃ごみ285トン、
資源ごみ430トン、計
6209トン、令和2年度
に比べ1141トンの減少
である。

問 資源ごみの分別収集に
ついて。

答 **建設環境課長** 可燃ご
みの中から資源ごみ5
種類16品目及び有害危険ご
みを分別収集する。行政区
が行う月2回の回収、町内

2カ所のリサイクルステーションや生活環境委員会による年2回の無料回収がある。令和5年度のリサイクルステーション利用者は延べ4万8992人、今年度よりバケツや洗面器などのプラスチック製品の回収も始めた。

問 ごみの排出、リサイクルの現状は。

答 **建設環境課長** 環境省系ごみの合計推量統計によると、町のごみの排出量は、令和4年度1人1日当たり918グラム（令和2年度より126グラム減少）、全国平均880グラム、県966グラムである。リサイクル率は17・5%（令和

2年度より1・9%向上）、全国平均19・6%、県13・9%である。

問 学校における食品ロス
ゼロの取り組み。

答 **学校教育課長** 「給食を残さず食べよう」と呼びかけ、さまざまな食べきる工夫や、食育の授業を通して感謝の気持ちや無駄にしない思いを育てている。

学校給食センターでは、食品残渣を減らす取り組みをしており、令和5年度は1万7765キログラムであった。これは児童生徒1人1日当たり約20グラム、令和4年度と比べ4グラム減量した。

問 町民や事業所への広報
や啓発について。

答 **建設環境課長** 食品ロスの推定は、国民1人1日当たり103グラム、おにぎり1個分である。食品ロスを抑制することがごみの減量化につながると考える。分かりやすい情報提供を行い、やってみようと思うような情報発信に努めたい。事業所へは、商工振興課や商工会と連携して取り組む。また、生ごみの処理についてはさらに調査研究したい。

問 町民に対する環境学習の場は。

答 **建設環境課長** 町主催の「みんなの講座」がある。職員が行政区や団体へ出向き、現状や課題を学んでいただくものである。令和5年度は1行政区のみであった。講座の周知を図りたい。

問 町民が自ら取り組めるような方針は。

答 **建設環境課長** 環境基本計画の策定を進める。

答 **町長** ごみの問題は、環境だけでなく町の財政に影響があり、重要な問題である。家庭、学校、事業所が自ら取り組んでいたように、なお一層推進したい。



混ぜればごみ・分ければ資源

一般質問



松島 茂喜
議員

「前へ」進める まちづくりについて

問 町長は、山本知事による未来構想フォーラムで、企業誘致については、近隣の自治体が頑張っておられるのでと前置きをし

「邑楽町は、ベッドタウンとしての可能性もあるのではないか」と発言したと記憶している。その部分については、どのような認識なのか確認したい。

答 町長 発言の中で、ベッドタウンという言葉を使ったのは事実である。ただし、近隣の自治体が開発行為をしているので、邑楽町は行う必要はない、ベッドタウンとして人の定住だけを目指せばよいのだという趣旨ではない。

問 それであるならば、企業誘致に関しては、ある程度前に進んだ部分があるのではないか。

答 町長 民間企業で買収対象者の意向調査を進めていただいているが、全ての対象者から理解を得られておらず停滞している。

問 町長は、3つの投資を人財の活用、連携を図っていくということだったが、就任から9カ月経った今、どのような進捗状況か。

答 町長 私が選挙時、就任時には副町長を2人というイメージを持っていた。しかし、県内町村でその例はなく、相応のコストもかかることから、何かの

事業を推進していく上で課長の上に民間人財が活用できないかと思っていた。工業団地の推進にあたり、具体的な思考も行ったが、その進捗が思わしくないことから、事業の方向性が見えた時点で改めて検討したい。

問 民間人財を活用すること、その意識が役場庁舎内に浸透し、新しい価値が生み出されることは間違いない。人口減少に伴い、行政事務の効率化を進めていくためにDXやAIの活用などのデジタル分野において、専門知識のある人を民間企業から招聘する動きは必要だと思うが、町長の考えはいかがか。

答 町長 今年度、庁舎内に業務効率化検討委員会を組織した。職員も限られる中で、財源をいかに効率良く使い、町が今後取り入れるべき具体的な内容は何かを検討していく。その中で、さらに民間人財を登用し、その推進を図っていくこと

く必要があると認められれば、検討していきたい。

※A-
(Artificial Intelligence)

…人工知能を持つコンピューターシステムやソフトウェア

※招聘

…礼を尽くして丁寧に人を招くこと



町ホームページ「町長の部屋」より



塩井 早苗
議員

介護保険サービスの重要性について

問 今年、3年に1度の介護報酬の改定があった。全体では1・5%のプラス改定だと言うが、訪問介護では全てのサービスにおいてマイナス改定となり、これでは事業を継続できないと怒りと嘆きの声が上がっている。今までも決して十分な点数ではなく赤字計上で続けていたが、これでは運営ができず閉鎖を余儀なくされる事業所がさらに出てきてしまう。そして、一番困るのは利用者やその家族、介護事業所の労働者である。町の状況は。

答 福祉介護課長 今回の改定で経営状況が厳しくなりつつあるという事業所は町でもあった。今回は、一見プラス改定に見えても

実際は算定ルール自体を変えているので、取得できなくなった加算や減収項目もあり、昨年と同じサービスを実施していても減収になってしまいう状態である。

問 人材不足ということだが、他の要因で事業規模を縮小している事業所はあるか。

答 福祉介護課長 本人の病気や定年、家族の介護など、介護職員の退職や勤務体制の変更などでサービス提供を行う時間が減少している事業所はあった。そのような状況で、新しい職員の確保がままならず人材不足により、介護サービスの依頼を断ることがあるということである。

問 地域包括支援センターの職員や介護事業サービスの事業所の現場職員の意見は。

答 福祉介護課長 町内のケアマネジャーが減ったことで、要支援認定者を地域包括支援センターでもっと見てほしいという依頼が増加している。要支援認定者数の増加に伴い、ケアプランの作成業務時間も増加し、相談業務が重なり負担が大きい。介護事業所では、介護職員の処遇改善についても他産業と比較すると給与額がまだ低い状態であるため、人材採用が厳しいという意見もある。加算の内容が細かくなり事務が大変になっているというところである。

問 令和7年、団塊世代の全てが後期高齢者となる。介護予防の充実や健康づくりの取り組みをさらに図っていく必要がある。包括支援センターへの専門職の人員配置の確保は必須であるが。

答 町長 早急にその人材の確保ができるかどうかについては今後の課題である。

問 町の介護事業所が継続して運営ができるように、何らかの町からの支援が考えられないか。

町のできる支援を各事業所と検討

答 町長 財政的な支援だけでなく、例えば電子申請届出システムの整備、介護職員に対するハラスメント防止の周知や地域包括支援センターでケアマネジャー等への相談支援等も行っている。できる限り支援はしていきたいが、各事業

所の意見等も聞きながら、何が支援できるのか検討していきたい。



元気な高齢者を目指して

一般質問



山本 裕子
議員

より深い総合福祉の 実現について

問 働きながらの子育て・介護世代の人から急な用ができた際、予約なく対応してくれる場が欲しいとの声があった。デイサービスや放課後等デイサービス以外で高齢者や障害者・障害児の一時預かり、集える場はあるか。

答 **福祉介護課長** 預かりの場合は事業所デイサービス、放課後等デイサービスになってしまふ。保険適用外になるが、高齢者、障害者、子どもが交流できる通いの場を提供している事業所もある。

問 時間外で保育園、幼稚園、児童館以外で児童の一時預かりの場やシステムはあるか。

答 **子ども支援課長** ファミリー・サポート・センターがある。事前に会員登録をし、会員間でマッチングを行い援助活動が行われる。

問 ファミリー・サポート・センターの登録者数、マッチング件数、利用状況は。

答 **子ども支援課長** 令和5年度の登録者は合計81人、マッチング件数は14人、利用状況は習い事等の援助65回、学校休み時援助16回であった。令和6年度8月末の登録者数は合計79人、マッチング件数は1件、利用状況は学校休み時援助4回、預かり2回、送迎2回である。

問 ファミリー・サポート・センターは利用回数が増せば費用もかかる。介護保険は認定調査に左右され、必ずしも受けたいサービスを受けられるわけではない。7月に神戸市内にある介護施設を視察に行ったが、従来の施設とは全く違い、福祉や介護という概念もなく、高齢者も子どもも障害者も外国籍の人も関係なく存在し、職員は子連れ出勤をし、フロアには子豚もいて、建物には看板もない。しかし、全国から入居や就職を希望する人が後を絶たない。介護や保育、縦割り行政等の従来の形ではもう限界だと思う。問題を問題と捉えるのではなく課題としてチャレンジする。

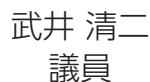
答 **町長** 神戸市のようにさまざまな多様性に富んだ集いの場を公立で運営している事例を聞いたことがなくイメージがつかないが、施設設備や有資格職員の常駐等莫大なコストがかかる事業になると思う。民間事業でも事例も少ないと思うので現状すぐに取り組む事は難しいが、今あるシステムを活用することを前提に、今後さまざまな事例を情報提供いただきながら町として取り組んでいけるものがあれば一緒に考えていきたい。

※漢字の表記は質問者の意向による。



垣根のない総合福祉

中学校の統合について



邑樂中學校



休憩室 The Lounge

心の休憩室



岩崎 美智子
(秋妻・17区)

休憩室へ原稿をと声を掛けていただき、80歳を目前にして私の心の休憩室はどこだろう、何だろうと考えてみました。故郷の友、学生時代の友、職場での仲間、生活の中での人々、趣味を通しての出会い、それぞれの関わり合いが大切な宝物になっています。「出会いが宝」それが私の心の休憩室でしょうか。

住んでいる秋妻の風景は大きな変化はなく、西に広がる田では収穫種まき真最中。そんな中で役場を中心とした文化交流の場が開放されています。私もその恩恵にあずかり、定年を機に誘われて始めた水彩画を趣味とし、公民館の絵画クラブの展示をはじめ、ロビーでの個展やホールでの展示と、発表の場をお借りしています。地域の皆さんとの交流もでき、人の輪の広がり、さまざまな出会いから喜びや楽しさをいただき感謝しています。日々「やわらかく明るく」過ごしたいと思います。

議会のうごき

8月

- 1日 (仮称)太田市外三町広域斎場整備事業起工式
- 6日 群馬県未来構想フォーラム
- 21日 議会運営委員会
邑楽町戦没者追悼式
- 22日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 23日 全員協議会
- 24日 群馬県消防ポンプ操法競技大会
- 27日 群馬県東部水道企業団議会

9月

- 3日～13日
第3回定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、
全員協議会、議会広報委員会)
- 24日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会

10月

- 1日 議会広報委員会編集会議
- 4日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 7日～9日
邑楽郡町村議会議長会議・
事務局長合同県外視察研修
(福島県・岩手県)
- 10日 議会広報委員会校正会議
- 11日 群馬県東部水道企業団議会
- 18日 全員協議会
議員のためのハラスメント防止研修
- 22日～24日
議会運営委員会・
常任委員会合同視察調査
(埼玉県・千葉県)
- 28日 群馬県町村議会議長会理事会
邑楽館林医療企業団議会
館林地区消防組合議会

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は **12月9日** から **13日** を予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は10日、11日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、中央公民館、長柄公民館、高島公民館に置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見るができますので、ご覧ください。

邑楽町議会

検索

詳しくは、議会事務局まで ☎47-5000

インドネシア共和国 スラバヤ市

私 のふるさととはインドネシア共和国スラバヤ市です。

スラバヤは、インドネシア語でサメとワニを意味する「スラ」と「バヤ」の2つの言葉からできています。ブラントス川で両者が激しく戦った伝説に由来しています。スラバヤは戦後のインドネシア独立を象徴する街です。ヤマトホテル（現マジヤパヒトホテル）と呼ばれた日本軍の司令部が置かれた建物は、日本の敗戦を機に連合軍が進駐し、オランダの国旗を掲揚しました。これに激怒した

若者が、オランダの国旗の一番下の青い部分を引き裂き、上の部分の赤と白を掲げました。これが現在のインドネシアの国旗です。スラバヤは国旗発祥の街でもあります。

スラバヤは昔から商業都市として栄えていたので地方の移住者も多く、違う故郷を持つ人たちが何世代にもわたり暮らしています。

私の両親もカリマンタン島（旧ボルネオ島）の出身です。多様な故郷を持つ人々の街で食文化が発展したため、地方の郷土料理はスラバヤでいつでも味わうこと



島田 ハビバ
(下中野・1区)

ができます。

インドネシアで勤務していた夫の帰国を機に邑楽町に移住して今年で21年になりました。3人の娘に恵まれ、移住当時は幼稚園児だった長女が昨年結婚しました。長い月日を過ごしてますがとても住みやすい町で感謝しております。



スラバヤ市のシンボル サメとワニの像

編集後記

今回の定例会では、町の決算報告が中心となりました。町民の皆さまの税金が適切に活用されているか、その使途や有効性をチェックすることは、私たち議員の大切な役目です。今後も、より良い町づくりのために、さらなる改善を提案していくことが求められています。

また、YouTubeでの議会配信も開始から1年が経ち、おかげさまで多くの人にご視聴いただいております。この取り組みが議会の透明性を高め、皆さまとの距離を縮める一助となっていることを嬉しく思います。

これからも、皆さまの声が市政に反映されるよう努力を続けてまいります。どうぞ変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

(武井記)



YouTube 配信